



歌冊号 | No. 00025
平成29年4月14日(金)
発行 書肆べう
ながしろぼんり

春です

今年の桜は汚えなあ、などと書こうと思ったら咲き揃ったら十分綺麗でやんのやーねえ。

桜にもキレイキタナイが、真つ白だった覚えがある。震災の直後というのもあって、己の心情を何かに託そうとする心の働きひとつかもしれないけどね。とまれ、なんかあったんでしよう。で、白く見えた。今年は桜の下で酒飲んでねえなあ。

花見酒、といえば土曜日の早朝八時半から井の頭公園でビニールシート敷いて飲んでいる一団がありました。朝の八時半。しかも霧雨。遠目にもシートびっしやびしや。
あすこの公園は花見客も夜10時には皆おんだされる仕組みですので、雨のしよぼ降る朝にこのこと出かけてきてあすこでシート敷いて飲

んでる。風狂と云えるでしょう。風流ではないよね。だいたい自暴自棄に見える。そういう風狂をしているという自分自身と遊んでいる。こういうのが四人も五人もいるんだからね。

たーのしー

けものフレンズ良かったよ。ほおう(アルパカ・スリ風)。なんでウケたか？

決まってるぢやねえか、原作が動物園だからだ。そして獣は人間に媚びないからだ！この辺をうまいこと作品に溶け込ませている辺りが非常に大発見で、ここから先「さかなフレンズ」だの「しぜんさいがいぐズ」だのが矢継ぎ早に出て多分売れない。だってちゃんと自然科学を模倣するのって時間がかかるもの。後追い商法で乗っかるにはコストはともかく時間がかかりすぎる。うめえことやりやがった。話の筋が王道なのも非常にいい。たーのしー！
舌題というのは色々にリンクするんですが、なんで笑点のピンクはつまらないかという部分にも繋がってくるかもしれない。この場合、比較して面白いのが小遊三か木

久扇か、なのです。つまらないグループに好楽・三平、ついでに解答者時代の昇太と歌丸も入れてしまう。先ほどの面白いグループに円楽、たい平も入れ込んで線を引く。この2グループ、あるものがあるグループと、無いグループ。なにかというと、狂気だと思

うのです。木久扇の「河童の真似」「ルンバの集団の真似」あたりも笑点で見慣れてなかったら狂気だし、小遊三の「尻の穴にカブトムシを飼っている」にも円楽の皮肉にもやはり狂気が垣間見える。一方、好楽も昇太も三平も「回答に納得がいっちゃう」のです。「上手いな」とは思っても「可笑しい」とは思わない。
大仰な言い方になってしまいうけれど、見ている側の「常識」から逸脱するところに笑いといるのはある。この「常識」というのも人間が便宜上作り出した共感の回路で、この上で何かしたところで技術だけが目立ってしまう——となると、「上手いけどつまらない」という評価認識が発生してしまうんじゃない。この辺、けものフレンズは動物の思考回路を如実にトレースして部分部分で再現

することで相当面白いものが出来上がってると思うのです。一次創作なんかでもそうだし。艦これでもなんでも、足りない狂気はそれぞれフアンブックのかたちで追加する。それでいいと思います。狂気のない原作のほうが二次創作が捗る、ということもあるかもしれない。

考

へてみれば、二次創作ってほとんど全く通過してこなかったなあ。本人が忘れてるだけでどっかでやってるかもしれないけれど、本当に記憶がない。なんで通過しなかったのかは、自分でもよくわからない。ただ、今までの話で言えば、他人の作品をいじくるよりも自分の世界観のほうが面白かったのかも。

ももいろタロイモF

今回は趣向を替えて、ちと絵を用意しました。



誰だと思えますか。ナンタカワカラナイ。そうでしょう。どうです。はい。

春の袋ひ

春の袋ひ
御利した春の装の美しさを御旅行に御散策に身の運び品の御用命は常に流行の魁となる左記の店にも願ひします

平龜屋呉服店

大阪九條花園橋

一心寶飾店

大阪天満八千代阪隣り

豊田回禮店
和角と
角と
和角と
角と

べう式「アタリ」は、書肆べうの発行する冗句と与太話のフリーペーパーです。出来れば各自でPDFをダウンロードし、プリンターなどを駆使してお楽しみください。A4版です。御連絡はbanric@gmail.com (ながしろ) まで。Website : <http://sbew.web.fc2.com/atari/>



目に見えないものなんてあるかないかわからないでしょ (違う)

か うして見るとひどいなー、ぢやなかったフルカラーですよ！ やだなあどう見てももクロじゃないですか！なんかちよつと画風がバラバラだけど、それだけ山路先生が似せよう似せようと苦心した結果でもありやす。

結 構その、似せようと思つても似ないんじゃないか、というのが今回のテーマです。「ももクロ 似顔絵」で画像検索すると有象無象、写真としてうまいものから(半ば悪意の籠もった)デフォルメまでいちゃっちゅーほど出てく

るワケですが、でも、これら「五人組」とか「五色」というファクターを取つ払うと何にも似なくなってくるのではないか！ ということなのです。更に面白いのは、検索結果を眺めれば眺めるほど、もともと「こいつはうめえや」と思っていた似顔絵もそうでもない気がしてきてしまう。ググってみってくださいよ。見ましたか。さて実験です。

剥 いでみた。五色の色分けをグレースケールで失くし、アイドルらしさの象徴たるリボンを除去してみる。するとどうでしょうお客さん。下の図のようになった。しばらくつくづく眺めて、下に余計なのキヤプションを追加してみた。ね、別人でしょう。

いや、決して作画がいかにひどいかをdisりたいわけではなく、そうとう似顔絵というのは記号によるものなんだなあ、と思うわけです。

さ う考えると新聞に広告が出ている似顔絵講座、なんてなあその辺が判ってんでしようね。特徴を誇張することで、人間の顔を記号化してしまう。あ、思い出した。家元談志は「(似せる)本人の

了見が出ていればいい」と云うてましたな。そのまた師匠の五代目小さん曰く「狸を演じるには狸の了見にならなくちゃいけない」にリンクするわけです。なんだろうな、人間、人の顔の特徴でカテゴライズして認識しているのかもな。となると、そもそも似顔絵というのはどんだけ作画技術的にうまきしようとしてもダメなのかもしれない。

●クラスでも美人と有名。クールに見えるが考えているのは「寿司に味噌は合うか」とか「ヒヨケザル」そんなんぼつか

●自撮り道の大家。彼女のインスタには地球外含め 億のフォロワーがいるがふだんはスーパードラマ番勤務。一児の母。

●自称サバサバ系。誰かれ構わず正論を言うところが自分の魅力だと思ってるが、最近疑問を抱き始めた。趣味は語学。

●小学生。村に所さんの番組が来たときには第一村人になれずに悔しがっていた。蛇の抜け殻コレクションは放映されず。

●妖精が見えていると評判の我が社の妖精さん(庶務職勤務年)。力持ちなのでひしゃげた口ツカ



な どと書いていたら『キャプテン翼』の高橋陽一が描く似顔絵がどれもこれも同じ目鼻、というのをふと思いつた次第です。例によって著作権的にアレなので転載はしませんが、検索の上ご確認のほどを。すごいぞ！

あ つ、書肆べうはももいろクローバーZを心より応援しています。ピンク寄りの箱推しです。本当です！

何 か取り繕わずにいられないようなことがあったのかい。いや、ないけど。

ま ーた尺を余らせてしまったのか。その辺は至極いきあたりばったりだから仕方ないんですが、えーと、ももひき(©杉浦茂)。

今 からことわざを考えます。カレー屋でとっくりセーター。息子より飯を早く食う。ピューマにソンプレロを嘔吐する。猫を紙袋に押し込める。紙袋の中にはこれから寝ちゃおうという猫と押し込められて憤懣やるかたないという猫がいるという可能性があるが、袋を開けるまでは眠気と怒りが一対一で重なりあっている。

バックナンバーはこちら
弊紙「ペラ式アタリ」のバックナンバーはウェブサイトで
<http://shew.web.fc2.com/atar/>
からご覧いただけます。

おしらせ

ネタ切れに困っていた一番下の告知枠を長いこと埋めてくれていた真打披露興行(3/5月)の真つ最中です。四月中旬は浅草演芸ホール、下旬は池袋演芸場、GWを挟んで五月中旬に国立演芸場でフィニッシュです。落語に津軽三味線と賑やかに二刀流の活躍です。みなさん寄席に足をお運びください。



今回絵を描いてもらった山路蓮蛙作画・ながしる原作の演劇部まんが「どうらん。」は画像投稿サイト「pixiv」「マンガハック」「アルファポリス」などにて月イチ連載中です。



今回は以上です。